ぜひ統計局を選択肢の一つに

統計局統計調査部消費統計課
物価統計室物価構造審査発表係

小原 夏歩 OHARA Kaho

平成28年 4月　入省
　　　　　　　統計局統計調査部調査企画課首席分類銘柄情報官付
平成30年 4月　統計局統計調査部消費統計課物価統計室企画指導第一係
平成31年 4月　同　企画指導係
令和 2年 4月　現職

Q 総務省統計局に決めた理由

「統計業務に興味を持って」

官庁訪問をした際に、職員の方から統計業務についての重要さを聞き、統計調査が幅広く利用されていることに興味を持ったことがきっかけで統計局を志望しました。

Q 現在の仕事と今までに担当した仕事

「物価に関する調査」

現在は、小売物価統計調査の審査・発表業務を主に担当しています。毎月、店舗や世帯から商品・サービスの価格や家賃などを調査しており、その調査結果を公表する業務です。

入省以来同じ調査を担当していますが、複数の係で業務を分担しており、配属される係によって業務内容が全く異なります。

最初に配属された係では、全国で品質が一定なものを調査するために、メーカーから情報収集をしたり、時には、実際に店舗での出回り状況を確認したりする業務を担当していました。

Q 仕事の魅力とやりがい

「日常生活にも役立つ統計」

小売物価統計調査では日常で何気なく消費しているものも調査対象になっています。

調査を担当するまで気にしたことはありませんでしたが、商品の内容量が減少したことによる実質値上げの状況や、購入時期によって価格が異なる家電があることなど、日常で買い物をするときなどに役に立つことも多く、この調査を通して様々な物事に興味を持つようになりました。

また、テレビ等の制作会社や記者の方から問合せを受けた内容が、実際に掲載されているのを見るとやりがいを感じます。

Q 皆さんへのメッセージ

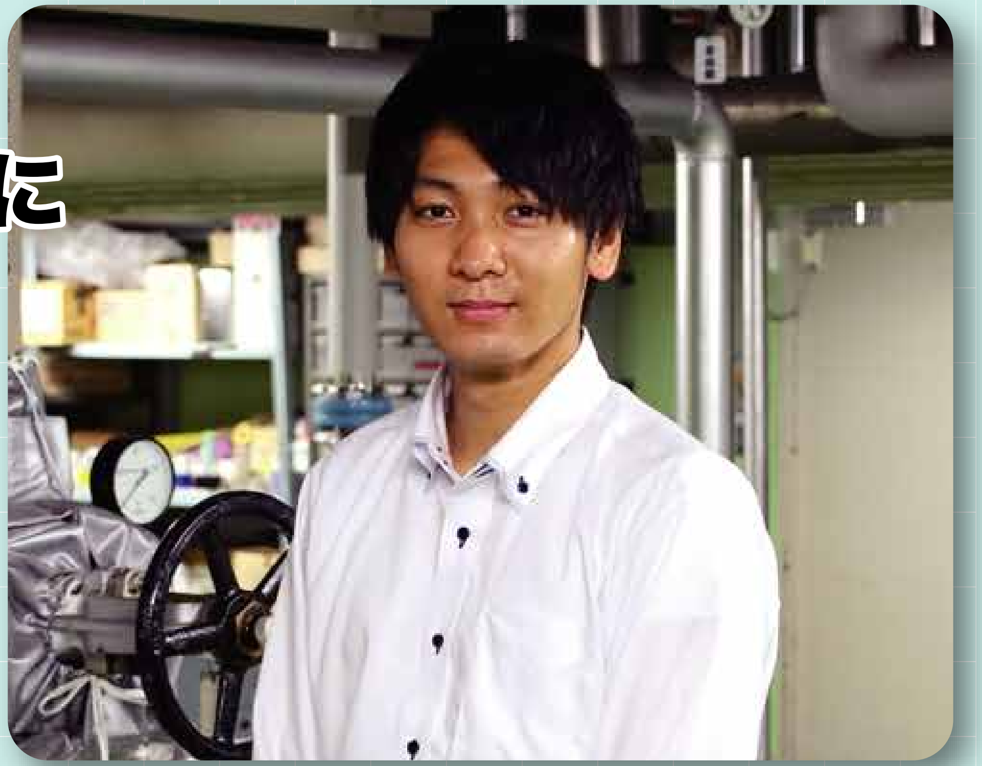
「相談しやすい環境だと思います。」

統計に関する知識が全くない状態で入省することに不安はありましたが、周りの方々の助けもあり、少しずつ業務に慣れていくことができる環境でした。

配属先の状況にもよりますが、周りの人に相談しやすい環境だと思います。

選択肢の一つとして統計局の業務に興味を持っていただければ嬉しいです。

統計のために



統計局総務課施設係

和田 隼希 WADA Junki

平成28年 4月　入省
　　　　　　　統計局総務課給与係
平成30年 4月　現職

Q 総務省統計局に決めた理由

「夢の実現」

小学生の頃、「将来なりたい職業」というタイトルで「公務員になりたい」と作文を書いたことを覚えています。当時は漠然としていたものの、次第に「人の役に立つ仕事がしたい」と明確なものに変わり、様々な人の役に立てる「公務員になりたい」と思うようになりました。そんな中で、統計局を志望したのは、統計が行政機関、事業者、国民と、幅広くそして身近なところでも利用されていて、「統計」の重要性を知ったことが理由です。

Q 現在の仕事と今までに担当した仕事

「快適な職場で快適に業務を」

採用されてから、総務課給与係で主に平成27年国勢調査の調査員の公務災害の認定・補償等の業務を担当し、現在は総務課施設管理係で庁舎の設備整備等をしています。庁舎の維持管理業務を委託している業者と協力して、冷暖房の設定温度や風量調整、蛍光灯の交換、トイレや洗面所の漏水対応など、庁舎で起こる日々のトラブルへの対応を行っています。職員が快適な職場で快適に業務を行えるよう裏から支えています。

また、庁舎の維持管理上で法令違反にならないようにする必要があるため、建築基準法、消防法、ビル管理法など、現在の係ならではの各種法令を知ることができ、日々勉強の毎日です。

Q 仕事の魅力とやりがい

「人との関わりを大切に」

庁舎の維持管理をしているため、職員の方はもちろんのこと、他省庁の方や設備の修繕、改修等のために業者の方とも関わることがあり、沢山の方とコミュニケーションを取りながら仕事をするのはとても楽しいです。

また、壊れている設備の修理や必要な設備を用意した際に、利用者から直接「ありがとう」、「助かりました」と感謝されることがあり、そういった声があるからこそ「どんな要望にも可能な限り応えよう」と仕事へのやる気とやりがいを感じています。

Q 皆さんへのメッセージ

「持ちつ持たれつ」

責任感をもって業務をしていく必要はありますが、周りの方々と助け合いながら業務を進めていくため「一人でやらないと」と気負う必要は全くありません。はじめは苦労することもありますが、業務をこなしていくうちに、達成感、充実感を味わえるやりがいのある仕事ですので、興味がある方も統計の知識のない方も官庁訪問の際には、統計局にぜひお越しください。